

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、
立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女とも、特に50m走のすばやく移動する能力が優れている。
- 女子は、特にソフトボール投げの運動を調整する能力が優れている。
- 男子は、立ち幅跳びのすばやく動き出す能力である瞬発力、女子は、反復横跳のすばやく動作を繰り返す能力の敏捷性に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・ 友だちとの交流を通して、大縄跳びのポイントのコツ等を知ることができる学び合う活動の設定
- ・ ソフトボール投げのコツや体の動きを知るための、的投げ練習の場の設定
- ・ 体育科の授業において、タブレットを活用し、自分の動きを評価する機会の設定

②改善を図る点

- ・ 大きな力を出す能力をあげるための運動を、体育科の時間の準備運動を通して継続して行う。
- ・ 体育科の授業の中で、児童が主体的に練習に取り組むことができるような場づくりを行う。
- ・ できるようになったことを自覚する自己評価や振り返り活動の設定を行う。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・ 日常的に運動することへの意識を向上できるように、体力アップシートを活用し定期的に評価を行う。
- ・ 児童が調和のとれた規則正しい生活の大切さを理解できるように、家庭への呼びかけを行う。